

安全衛生活動の充実をはかって

神岡営林署 葛谷嘉之

1. はじめに

私の勤務している船津担当区は30万時間以上の無災害記録を続け、20年間無災害の記録を目前にしています。

安全の基本は一人ひとりの安全意識の高揚をはかることである。

そのために、安全衛生活動には管理者、主任等による安全点検、自己啓発を促すものとしてDDV運動等がある。両者の間を埋める潤滑油として、家族懇談会・現場間交流点検を位置づけることができる。

この中から、家族懇談会・現場間交流点検について実施内容と、安全衛生活動の一層の充実をはかるため、ふたつの活動の効用・課題等について、アンケート調査により取りまとめたものを報告する。(アンケート項目は別紙参照)

2. 家族懇談会

当担当区は事務所職員2名、基幹作業職員は地元(神岡の自宅通勤者)3名、富山県からの(山泊者)2名の計7名で構成している。

このような班構成のため、自宅通勤者と山泊の者とは、20年近くもの間一緒に働いていても、お互いの家族の顔も知らないという状態であった。

このような状況の中で、「家族懇談会を実施しては」という声が数年前からあり、当担当区の懸案事項となっていたが、今年度実施することができたので、以下概要を報告する。

(1) 目的

- 家族の方に現場や作業に対する理解を得る。
- 現場の安全衛生を一番心配している家族の目で確認し点検を行う。
- 家族ぐるみの付き合いで、職場内の和を深める。

(2) 実施内容

昭和57年6月12日(土)に署長御夫妻を始め、署から関係職員、船津担当区職員及び、その家族計21名の参加者により実施した。

家族の方には当担当区部内・切雲国有林の見学と、作業班の行う機械・人力による下刈作業を見学して頂いた後で、職員を含め懇談会を開き、安全意識の高揚を図るとともに交流を深めた。

(3) 結 果

懇談会の席では初対面の人が多く、顔合わせができただけでも意義のあることであり、これからの家族ぐるみの交流を更に深める上での第一歩を印すことができた。

また、家に帰り家族に山の話をして仕事苦や、安全についても理解してくれるようになった。

家族の方達からは、山での仕事に対する慰労の声、ゆきとどいた造林に対する感心の声とともに、通勤上での自動車運転、緊急時の対応等について心配して頂いた。私達も家族に答えるよう今後、一層安全作業をするよう注意をしていかねばならないと思った。

具体的な内容としては以上のようなことであったが、家族ぐるみの交流を深め、仕事に対する理解が得られたことにより、言葉には表わせない効用があったことが懇談会後の皆の表情・仕事振りからうかがえる。

(4) 今後の課題

参加者全員が今後とも継続して行ってほしいとの考えである。

内容的にはレクリエーション要素を増やして、一層打ち解けた雰囲気で行ってほしいという意見もあり、今後検討して行き、より充実した家族懇談会にしていきたい。

3. 現場間交流点検

神岡営林署において10数年実施されており、安全衛生活動として確実に定着している。いままでの活動を反省する意味で、以下概要を報告する。

(1) 目 的

- 現場・事業間の連携をはかる。
- 交流を深め、相互理解をはかる。

(2) 実 施 内 容

実施方法は安全管理者の行う点検に準じて行い、主任・安全推進員等が他の現場を訪問し、点検を行うとともに懇談会等を通じて、安全衛生・作業方法等について意見交換を行った。

(3) 結 果

交流点検を実施したことによって、他の現場の良い点を取り入れることができ、自分の現場の欠点を客観視することもできた。

また、お互いの現場の実情がわかり、仲間意識を深めることができた。

さらに安全に関して話合うことで、お互いに刺激し、安全意識の高揚をはかることができた。

点検者が自分の現場に持ち帰り、活用した事項として、具体的例をいくつか挙げてみる。

- 掲示板・ポスター等を積極的に活用し、安全意識の高揚に努めた。
- 安全は整理・整頓された職場環境から生まれることを再認識した。

- 接近作業・上下作業などに一層の注意をした。
 - 使い易い道具選びに役立った。
- 作業道具、作業方法に関してなど広い範囲に活用されている。

(4) 今後の課題

懇談会の時間を一層充実させるために、交流点検の前に各現場で疑問点・問題点等を話し合っておく。ハッ！と通報を持ちより検討する。などの対策が考えられ、今後の参考にして交流点検を充実していきたい。

4. おわりに

家族懇談会を通じ、国有林の仕事について家族の人達にも理解されて、家庭と職場の和を深めることができた。家族の心配も肌身でわかり、決して事故をおこすまいと改めて誓った。

また、交流点検から得たものは有効に活用し、高令化する職場の中で健康には特別注意をはらい、行動災害を起こさないよう努め、更に無災害の記録を更新していきたい。

アンケート調査した項目

————— 家族懇談会に関して —————

〈職員対象〉

- 初対面の人がいたか。
- 家族の反応について
- 懇談会の効用について
- 今後も実施するか。
- 次回、何を行いたいか。
- 安全意識の変化

〈家族対象〉

- 初対面の人がいたか。
- 現場・山の印象
- 下刈作業についての感想
- 今後も参加するか。
- 安全衛生について
- 懇談会の効用について

————— 現場間交流点検に関して —————

- 交流点検で気付いた事を自分の現場でどのように活用したか。
- 交流点検の効用について。
- 交流点検の実施方法について。
- その他、安全衛生活動について、日頃感じていること。